

## ● ● ● メディカルサポート隊(緊急医療援助隊)の創設 ● ● ●

札幌市豊平消防署

### 1 はじめに

札幌市豊平区は、札幌市の南東部に位置し、街なみその歴史や位置から分類すると、明治時代からの歴史を感じさせる寺社と再開発事業による近代的なホテルや住宅のビルが新旧の味わいを見せる豊平地区、かつて平岸リンゴの産地として名を馳せていましたが、現在は市の中心部に直結する住宅地に変貌している平岸地区、閑静な住宅街に北海道日本ハムファイターズの本拠地である札幌ドームがみられる月寒地域に大別されます。

平成21年4月1日現在の人口は、208,476人（住基人口）、区域面積は、46.35km<sup>2</sup>で、南部は羊ヶ丘や西岡などの緑豊かな丘陵地と山林を擁しており、望月寒川・月寒川・吉田川などの河川も多く、豊かな自然に恵まれております。

豊平消防団（団長 まつもと 松本 よしまさ 吉正）は、明治27年

12月に創設された私設の「豊平消防組」として誕生し、現在では、1本部、6分団、現団員194人（定数210名、充足率：92%、内訳 男性140人、女性54人：女性団員の割合28%）で組織されており、日頃から地域の防火・防災の担い手として、区民の「安全・安心」のまちづくりに寄与しています。

### 2 豊平消防団メディカルサポート隊（救急医療援助隊）の結成

豊平消防団メディカルサポート隊（以下、メディカルサポート隊という）は、医療に関する資格及び専門的知識を有する消防団員をもって組織されており、豊平区内で多数の傷病者が出る事故が発生した場合などをはじめとする各種災害現場で、救急隊、消防隊等と連携し、傷病者の応急手当や応急救護所での活動支援等を行うことを目的とし



札幌市（豊平消防署）



札幌市（救急車とメディカルサポート隊）

て結成しました。

メディカルサポート隊の構成員は、以前、市立札幌病院救急部で勤務し、札幌市消防局救急救命士養成所専任講師を務めた後、豊平区内で開業している鈴木研一ドクターを中心に、看護師2人、准看護師1人、ホームヘルパー1人、事務担当者2人の計7人で、平成21年2月13日から活動しており、来る10月には3名の新隊員の入団予定であり、さらに充実した活動が期待できます。

### 3 メディカルサポート隊の活動

メディカルサポート隊の主な活動内容は次の通りです。

- (1) 災害現場における傷病者の応急手当等
- (2) 災害現場における応急救護所活動の支援
- (3) 消防団員の応急手当等に関する技術、知識向上のための各種研修、訓練
- (4) 救急隊、消防隊等との各種連携訓練

また、メディカルサポート隊の出動は、札幌市消防指令システムと連動した消防団メール配信システ

ムのより速やかな出動が可能であり、出動該当（所轄する分団）となる団員の携帯電話に、①覚知時間、②出動種別、③現場住所が配信され、常備消防隊及び救急隊との連携をより強く意識した活動ができるようになっています。その結果、発足後、メディカルサポート隊として4件の出動があり、そのうち1件は臨場救急隊と連携したCPA（cardio pulmonary arrest：心肺停止を指す）傷病者の処置が行われました。

### 4 今後の取り組み

今後は、各種災害現場での活動を始め、消防署・消防出張所と連携して大規模災害や多数傷病者事故などを想定した実践的な訓練を実施し、災害に対する知識や技能を習得するなど、災害対応能力のさらなる向上を図らなければなりません。そして、地域における救急活動支援の中核的存在として重要な役割を担い、大いに活躍する消防団として発展するものと確信しております。